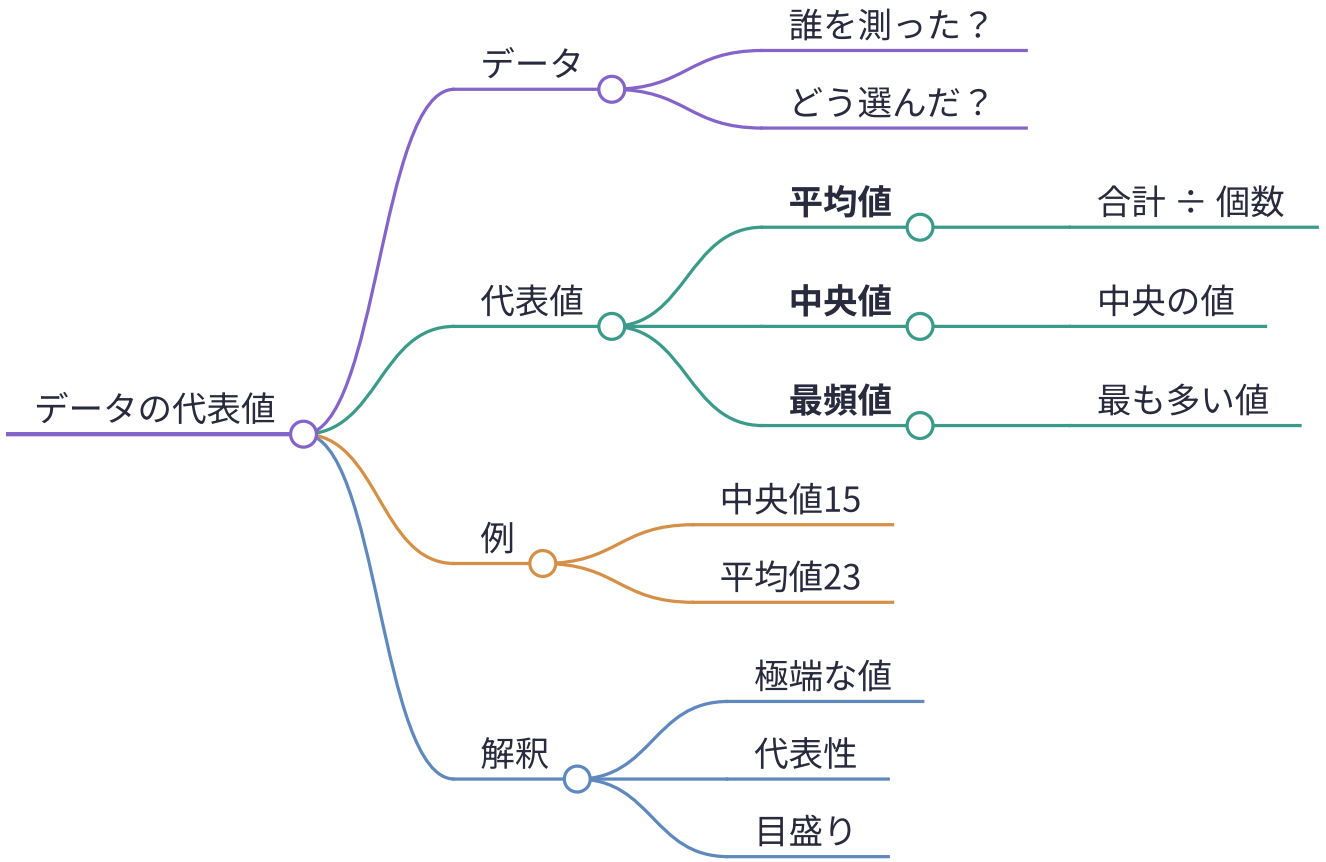
データの代表値

問いに合った数値でデータを要約します。



枝を一つずつ読み、細部を隠して自分の言葉で説明してみましょう。

内容を理解する

平均値は合計を個数で割った値です。中央値は並べたデータの中央、最頻値は最も多い値です。極端な値は平均に強く影響します。対象の選び方や測定方法によって、結論として言える範囲は変わります。

マップの構成

集め方、代表値、解釈の限界を結び付けます。

> **ここに注意**
> データが多いだけで全体を適切に代表するとは限りません。グラフの目盛りも確認します。

自分で考えてみよう

10、12、15、18、60の中央値と平均値を求め、違いを説明しましょう。

考えてみよう：二つの問い

例の中央値は？

順に並べた五つの数の三番目は15です。中央の値を選ぶので中央値は15となります。

平均値のほうが大きい理由は？

大きな値は中央値より平均値に強く影響します。

参考資料

openstax.org
https://openstax.org/books/introductory-statistics-2e/pages/2-5-measures-of-the-center-of-the-data

Studera.aiが作成した学習用の作例です。studera.ai/ja/gakushu-shiryo/mindmap-rei でマップを活用できます。